

お知らせします

市行政改革の推進状況

市では平成18年10月に、行政改革大綱・集中改革プランを策定し、行政改革に取り組んでいます。

平成18年度の成果は策定が遅れたこともあり、成果が少ない状況ですが、取り組んだ概要を公表します。

集中改革プランの成果について

市では、簡素で効率的な行政運営と行政サービスの向上を目指して、行政改革に取り組んでいます。さらに改革を推進するため、国の指針を受け、市民の代表や有識者等で構成する行政改革推進委員会を組織し、平成18年10月に行政改革大綱及び集中改革プランを策定しました。

改革プランでは、平成18年度から平成22年度までに推進する24項目を掲げておりますが、平成18年度に取り組んだ成果がまとまりましたので、その概要を公表します。

平成18年度は 約2億3千万円の効果

集中改革プランの項目に対応する、行政改革への取り組みとして8事業を実施し、2億3千万円の効果額をあげました。

主な取り組みとして、歳入確保を図る取り組みでは、遊休市有地の処分や税等の収納率向上対策を実施しました。歳出削減の取り組みでは、補助金削減や施設管理費の見直しによる経費削減をはじめ、事務事業の整理、職員数の削減や手当の削減などの人件費抑制に

平成18年度 主な集中改革プラン実績

項 目	主 な 内 容	事業数	効果額
事務事業の再編・整理	1. 白帆荘運営廃止 2. 組織機構の見直し	2事業	2,330万円
定員管理の適正化	1. 市職員数の適正化	1事業	13,484万円
給与の適正化	1. 特別職の期末手当削減 2. 管理職手当の削減	1事業	1,095万円
経費節減等の財政効果	1. 施設管理経費の見直し 2. コンピューター経費の点検 3. 市単独補助の見直し 4. 遊休市有地の処分	4事業	6,178万円

より、2億1千万円の経費縮減を進めました。

平成19年度の取り組みについて

平成19年度は、継続項目を含めて15件の改革項目を推進しています。主な取り組み内容は、給食センターの業務委託や観光物産館への指定管理者制度の導入などの民間委託の推進、事務事

業評価制度の導入や北浦荘・天竜荘の運営の見直し、類似団体の合併促進などの事務事業の再編・整理の推進を図り、経費削減に努めます。

その他、職員数の適正化や人件費の抑制、遊休市有地の処分なども継続して前年度以上の経費縮減を予定しております。

また、職員のコスト意識を徹底し、費用対効果を見極め、行方市に相応しい行政サービスのあり方を構築するため、TQM（総合質経営）手法を活用した取り組みをしております。この取り組みは、庁内の各課がテーマを掲げ、目標を設定して問題の解決に向けて対策を立て実行していくもので、業務改善等により簡素で効率的な行政運営を実現していくとします。

削減効果で行政サービスの充実

今後も改革の推進状況を定期的に市報やホームページで公表し、市民の声を反映させながら、行政改革を推進していきます。

厳しい財政状況が続く中、このような行政改革により生み出された財源で、新たな市民ニーズに対応した行政サービスの充実に取り組んでいきますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

平成18年度 集中改革プランの実施事業

集中改革プランの項目ごとに実施した事業のうち、主な取り組みをお知らせします。

1. 事務・事業の再編・整理、廃止・統合

●白帆荘運営事業廃止

市営の宿泊施設として運営していましたが、施設の老朽化や宿泊客が減少したため平成19年3月末で廃止しました。(効果額 白帆荘補助金 2,330万円の削減)

●組織機構の見直し

税務、環境室等を廃止して窓口部門の一元化を図るとともに、組織機構の簡素化を推進します。

2. 民間委託などの推進

取り組み中

3. 定員管理の適正化

定員適正化の取り組み内容

市の職員数を平成17年度から平成27年度において、115名削減して370名とし、効率的な行政運営を図ります。

●平成18年度実績 —— 退職者10名 採用無し

●平成19年度実績 —— 退職者17名、採用4名 13名削減(効果額 13,484万円)

年度別職員増減員計画(各年度4月1日現在:人)

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	27年度
退職者数 ※1	—	10	17	27	12	10	—
採用者数 ※2	—	0	4	7	—	—	—
定員管理計画	485	472	462	448	436	428	370
実職員数 ※3	485	472	459	439	—	—	—

※1 退職者数は、計画策定時点における前年度末の退職者の数値を記入しています。また、平成21年度からの数値は定年退職者のみの数値です。

※2 採用者数は、退職者数の30%以内とし、採用を抑制しています。

※3 平成17年度職員数は485人となっていますが、合併時の職員数は482人(教育長1人を含む)です。

4. 手当の総点検をはじめとする給与の適正化

●特別職(市長、副市長、教育長)の期末手当20%削減(効果額 147万円)

●管理職手当の20%削減(効果額 948万円)



5. 経費削減などの財政効果

●施設管理経費の一括委託(効果額 518万円)

●コンピューター関係の委託料等の点検(効果額 92万円)

●市単独補助の見直し(効果額 3,834万円)

●遊休市有地の処分(効果額 1,735万円)

(ため池 1,935㎡、宅地 1,272㎡の売却)

〈参考〉〇税等の収納率の向上

市税(平成17年度比 5,434万円増)

収納率 86.84→88.76%に向上)

6. 地方公営企業

取り組み中

【問合せ】

行政改革推進室(麻生庁舎)

☎ 0299-72-0811

(内線 311・312)

消費生活展・環境キャンペーン合同開催!



行方市消費者友の会では、北浦ふれあいまつり、行方市あきんど祭の会場において、「広めよう 安心・安全・環境にやさしい暮らしを!!」をテーマに消費生活展を開催し、消費生活のトラブルを未然に防ぐための啓発と食のくらしに関する啓発を行いました。行方市家庭排水浄化推進協議会・環境保全行方市民会議と合同で、「アクリルたわし」を配布し、霞ヶ浦北浦の水質浄化啓発の環境キャンペーンを行うとともに、会場内の買い物に「マイバック」を使用したり、ゴキブリだんごを作り配布しました。

旧玉造町駅構内に駐輪場兼待合所が完成しました。鹿島鉄道の廃止に伴い、当構内にあった駅舎やホームも取り壊され、バス利用者には更地に自転車置き場を置いておりました。

行方市では、多くのバス利用者のご要望を受け、この度駐輪場を設置しましたのでご利用ください。また、待合用のベンチを「利根コカ・コーラ・ポトリング」より2脚寄贈していただきました。

なおこの施設の管理は、関鉄グリーンバス様をお願いしております。

駐輪場兼待合所が完成



男女共同参画コーナー ⑨

ワーク/ライフ バランスとれていますか?

家庭での生活と仕事の両立、つまり「ワーク/ライフバランス」をとることが、心身ともに豊かに暮らすために大切です。

下のグラフでは、男性の家事・育児・介護等の時間は女性と比べ非常に短くなっています。そして、共働き世帯においても、家事等は妻が行っており、女性に家事・育児負担が偏っています。

社会の変化に応じて、「ワーク/ライフバランス」について、考えながら生活を変えていくことが男女とも必要です。

共働き	夫	10H04分	7H58分	5H27分
	妻	9H53分	6H26分	3H27分 4H13分
32分				
専業主婦	夫	10H15分	7H44分	5H28分
	妻	10H19分	6H59分	6H37分
4分				
睡眠時間		仕事・通勤	家事等	余暇活動

庁舎建設検討委員会の経過報告

○第7回委員会

10月5日(金)、玉造庁舎で開催され、「基本構想策定に向けた基本事項」の確認と「新庁舎建設位置」の検討がなされました。

基本構想は、先進事例を参考に「必要性」「建設の基本的な考え方」「位置」「規模」など、8項目で整理することが確認され、建設位置の中央付近は「旧3町の境界付近及び人口重心の中間点からの直径約3km」と、考え方を定めました。

○第8回委員会

11月5日(月)、北浦庁舎で開催され、「新庁舎の基本的な考え方」「新庁舎の規模」の検討がなされました。

基本的な考え方では、「行政サービス」「市民交流」「低廉」「防災拠点」などを中心に構成することが確認され、規模においては事務スペース等を精査検証して、6,700㎡(これまでは7,700㎡で想定)としました。

引き続き検討を進めて、年明けには最終報告をめざしています。市民の皆様のご意見は、事務局企画課までお願いします。

企画課(麻生庁舎) ☎ 0299-72-0811